

ニューズレター 2013 年度第 3 号

日本音楽表現学会 2014 年 3 月 31 日発行

【巻頭言】 事務局長としての 4 年間—大会をめぐるの回想—	杉江 淑子	p. 2
2014-2015 年度会長・理事選挙結果報告	中 磯子	p. 3
日本音楽表現学会第 12 回（まほろば）大会のご案内	村尾 忠廣	p. 3
ご案内、実行委員会組織、大会日程と会場、プログラムの概要と発表者氏名 宿泊、参加費、懇親会、参加申込、送金先、申込〆切、アクセス		
教員公募		p. 7
【書籍紹介】『ピアニスト 小倉末子と東京音楽学校』	江頭 義之	p. 8
新入会員紹介		p.10
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		p.11
会員による CD リリース		p.13
会員による新刊		p.13
『音楽表現学』 Vol.12 原稿募集	菅 道子	p.14
日本学術振興会「育志賞」の推薦について		p.14
事務局からの重要なお願い		p.14
年会費の納入について		
住所・所属・電話番号・メールアドレスの変更は速やかにお届けください！		
事務局からのお知らせ		p.15
ニューズレターへの投稿		
学会の会員サポート制度をご活用下さい。		
会費納入について		
『音楽表現学』バックナンバー購入方法		
【各種書式】		p.15
日本音楽表現学会第 12 回（まほろば）大会のご案内（簡略版）		p.16
2013 年度役員一覧		p.16
編集後記		p.16

日本音楽表現学会

所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：〒 520-0862 大津市平津 2-5-1 滋賀大学教育学部杉江研究室気付

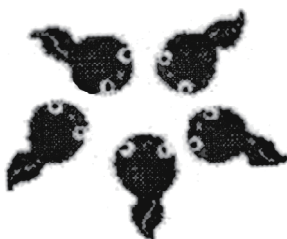
Tel. & Fax. 077-537-7792

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

URL: <http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費 (5,000 円) の振り込み

郵便振込口座：01370=6=78225 加入者名：日本音楽表現学会



事務局長としての4年間 —大会を巡っての回想—

杉江淑子（音楽教育学・音楽社会学／理事・事務局長）

2010年度、響の都大会（第8回）の際に開かれた新理事会において、事の次第を飲み込まないままに事務局長を引受けて、4年の歳月が過ぎようとしています。この間、甘露大会（第9回）、Blue Valley大会（第10回）、イーハトーヴ大会（第11回）の3つの大会を経験しました。各大会のニックネームに表現されているとおり、どの大会も個性豊かで印象深いものでした。

上越教育大学で開催された甘露大会は、東日本大震災に見舞われた2011年3月11日からちょうど3ヶ月後の6月11～12日に開催されました。大津波と“想定外”の原発事故による未曾有の被害を知るにつれ、人間の無力さに打ちひしがれる日々が続く、胸に痛みを抱えたままの準備作業となりました。そうした中、開催に向けて、着実に実務作業を進めてくださった後藤大会実行委員長、長谷川大会事務局長はじめ実行委員会の皆様のご存在は本当に心強いものでありました。実行委員長のユーモア溢れる開会の挨拶は、今でも思い出すと頬が緩みます。そして、この大会に、震災の傷癒えぬ岩手から、佐々木正利会員の車で学生・院生の皆さんが遠路はるばる参加してくださったことはとても嬉しいことでした。

2012年度のBlue Valley大会は、震災後の社会状況により開催地が決定できず困り果てていた事務局の状況を知って、藤原実行委員長が「それなら、山梨大学で引受けましょう」とおっしゃってくださったことで活路が開け、実行委員長のフットワーク、酒匂大会事務局長の冷静適確な判断、実行委員の緊密なチームワークにより、盛会裡に終えることができました。この大会では、学会企画特別版として、「〈震災〉と音楽表現」をテーマにラウンドテーブルが催されました。想像をはるかに超える被災地からの報告を聞きながら、いかに考え、行動すべきかを自問するWSとなりました。会場のオープンスペースでは、休憩時間に、もう一つの学会企画WSのゲスト出演者である中学生ダンスによる実演がサプライズで披露され、本学会らしいお祭り広場の雰囲気醸し出していました。前年度の甘露大会の命名にも現れているように、音楽を愛しお酒を愛する学会ですから、山梨大学オリジナルワインが懇親

会のテーブルに並んだことは言うまでもありません。

ところで、皆さんは「甘露」だの「Blue Valley」だのといったニックネームがどのように命名されたかご存じでしょうか？ いずれも、奥忍会長（当時）と杉江が大会の打合せに赴く列車の中でした。越後杜氏により極められた酒どころの開催なのだから、「甘露」はどう？ 甲府へ向かう列車に並行して流れる谷川の風景を車窓から眺めながら、「Blue Valley」がいいのでは？ といった会話を交わしながら、打合せ先に向かい提案するというパターンでした。打合せ先の実行委員長は、私たちの提案に、一瞬、戸惑った表情をなされた後で、「いいですね」と賛意を示してくださいました。

しかし、2013年度の大会は違いました。佐々木正利実行委員長から、「愛称は決めています。イーハトーヴです」とメールが届きました。そして、盛岡にて開催された大会は、まさしく「イーハトーヴ」の名称以外にあり得ない大会でした。市民ホールのガルニエ・オルガンと岩手大学合唱団の深みのある合唱によるオープニングから、参加者は一気に、宮沢賢治が理想とした音楽の桃源郷に引きずり込まれたに違いありません。基調講演に続いて、ホールいっぱいになり広げられた「かしはばやしの夜」！。あの場に居合わせた参加者は音楽表現学会ならではの幻想的な世界を感じとられたことと思います。きびしい冬を耐えて咲く花々のように粘り強く、力強く、ふるさとを愛する岩手の人々の心が伝わる忘れ難い大会となりました。

そして、2014年6月21～22日には、第12回（まほろば）大会が開催されます。まほろば大会もまた、本学会の歴史に一つの伝説を残す大会となることでしょう。事務局長として準備を進める最後の大会に向けて、残りの日々を頑張りたいと思います。

最後に、公務の合間を縫っての事務局長の仕事はなかなか思うようにははかどらず、会員の皆様には何かとご迷惑をおかけすることがあったと存じます。そんな中、こちらの不手際をおおらかにお許しいただき、ご支援ご協力をいただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。

2014-2015 年度会長・理事選挙結果報告

2013 年度選挙管理委員会

2014-2015 年度会長・理事選挙結果報告書

2013 年度選挙管理委員会

委員長 中 磯子

委員 鈴木慎一朗

〃 西野 晴香

2013 年度選挙管理委員会では、2014-2015 年度会長・理事選挙の開票を 2014 年 3 月 16 日（日）に姫路獨協大学医療保健学部児童心理学実習室において行いました。その結果をここに報告いたします。

記

1. 投票者総数：	228 票	役職	氏名	得票数
2. 有効投票数：	228 票	会長	安藤 政輝	211
3. 無効票：	0 票	理事	應和 恵子	203
4. 有効投票における各候補者の得票数：		〃	奥 忍	213
		〃	木下 千代	206
		〃	後藤 丹	204
		〃	小西 潤子	201
		〃	小畑 郁男	201
		〃	豊田 典子	202
		〃	藤原 嘉文	203

以上。

日本音楽表現学会第 12 回（まほろば）大会のご案内

期日：2014 年 6 月 21 日（土）～ 22 日（日） 会場：帝塚山大学 学園前キャンパス 18 号棟

駅前 1 分：帝塚山大学 学園前キャンパス

まほろば大会実行委員長 村尾 忠廣

会場、帝塚山大学 学園前キャンパスは近鉄奈良線の学園前駅南に隣接しています。駅を降りるとすぐに「帝塚山大学」の文字入りキャンパス棟が目につくはず。700 を越える日本の大学の中で、「特急停車駅前 1 分の大学」は他に聞いたことがありません。とにかく便利です。

こども学科棟は駅南口から見て道路の左側です。歩道橋に上がりず、本誌最終頁に示されているように、信号を二つ越えてください。信号待ちで時間がかかったとしても 2, 3 分あれば到着できるでしょう。

学園前駅周辺は春日山と生駒山の間地点にある新興住宅地で、風致地区です。品はよいものの、カラオケ、パチンコ店、ゲームセンターはありません。数年前までは居酒屋もなかったのですが、今では駅南側に 3 つも開業しています。会議で疲れた後、同僚とよく飲みにゆきます。

宿はやはり奈良公園近くがお勧めです。朝早く起きて、奈良公園を散策されてはいかがでしょう。近鉄奈良駅から学園前駅まで 10 分ほどで到着です。

第 12 回「まほろば」大会へのお誘い

会長 安藤政輝

やまとは くにのまほろば たたなづく あおがき
夜麻登波 久尔能麻本呂婆 多多那豆久 阿袁加岐
やまごもれる やまとしうるはし
夜麻碁母禮流 夜麻登志宇流波斯

今大会の愛称である「まほろば」は、『古事記』で倭健命（やまとたけるのみこと）が、詠んだとされる上記の歌が基になっています。歌が表すように、青々とした幾重にも重なる山々に抱かれた美しい倭の国は、もともと優れた素晴らしい所と伝えられてきました。

帝塚山大学は、1964 年に女子単科大学として開学（1987 年 男女共学化）し、現在は奈良県では最大規模の文系総合大学として有名です。会場となる学園前キャンパスは、近鉄学園前駅と直結し、施設の内容は素晴らしく、コンパクトに集約された六つの発表会場には最新の機器がそろっており、実りある成果が期待されます。

研究発表・ワークショップをはじめ、年々充実していくサロン、懇親会も待っています。美しい自然に囲まれて、心が広く豊かになる第 12 回「まほろば」大会にぜひご参加ください。

1) 大会実行委員会組織（敬称略）：

実行委員長 村尾 忠廣
 事務局長 奥 忍
 事務局長補佐 杉江 淑子
 委員 総務：○安田 香、岡田 孝
 会計：○豊田 典子、宮田 知絵
 会場・機器：藤井 康之、高島 克己、樫下 達也、*近藤 晶子、木本 雅子、奥村 正子
 広報：○木下 千代、荒川 恵子、井上 朋子、江頭 義之、北川 純子、草下 實、下清水 広、
 杉山 雄一、滝田 善子、多田 純一、谷村 宏子、土居 知子、中 磯子、仲 万美子、
 林 睦、坂東 肇、檜垣 智也、福本 康之、三木 康子、三島 郁、山名 敏之、
 鷲尾 惟子
 懇親会： 笹野恵理子
 参事： 似内裕美子、松井 萌

2) 全体日程と会場：

21日(土)													
10:00	12:20	13:00	13:15	13:20	14:05	14:10	15:40	16:00	17:00	17:10	18:40	19:00	21:00
実行委員会 編集委員会 理事会	受付 エント ランス	開会式	基調講演			シンポジウム		総会		分科会 I A, B, C, D, E, F 各分科会場		移動	懇親会 TEZUKAYAMA CAFE
22日(日)													
9:00	9:15	10:45		11:00	12:30	13:30	15:00		15:15	16:45		17:00	18:00
受付 エント ランス	分科会 II A, B, C, D, E, F 各分科会場		分科会 III A, B, C, D, E, F 各分科会場		昼食 TEZUKAYAMA CAFE, 他	分科会 IV A, BB, C, D, E, F 各分科会場		分科会 V A, BB, C, D, E, F 各分科会場		閉会	新理事会 実行委員会		

3) プログラム概要と発表者等氏名（敬称略）：

基調講演 藍川 由美 氏（声楽家）

「日本語の特性と古代歌謡および唱歌・童謡の歌い方」

シンポジウム 司 会：村尾忠廣

シンポジスト：岡田 孝、北川純子、鶴澤友球、藍川由美の各氏

「男のソプラノ・女のバリトン—裏声とジェンダーの問題—」

分科会 B の会場は
22 日午後 BB に移動します。

発表形態

WS：ワークショップ

UW：学会統一テーマワークショップ

PP：研究発表

CP：共同研究

分科会

I A ① PP 西野 洋子 ベートーヴェンのピアノソナタ作品 101 イ長調をめぐって

② PP 深井 尚子 ベートーヴェン後期作品の変容とビーダーマイヤー期の関係についての考察

B ピアノのサロン

C 声のサロン

D ソルフェージュのサロン、身体と音楽表現のサロン、日本音楽のサロン、音楽表現と社会のサロン

E 管弦打楽器のサロン

F WS 鶴澤 友球 義太夫節の世界へようこそ！—語りと三味線で表現するドラマの醍醐味—

II A ① PP 菅野 雅紀 邦人ピアノ作品の演奏における練習課題についての考察

② PP 野崎 博子 モンポーのピアノ奏法における「遅れ」からの表現

B ① PP 村尾 忠廣 「夏は来ぬ」と「鏡ヶ浦の驟雨」

② PP 佐野 晴美 日本歌曲の新しい視座—京ことばによる歌曲の演奏・表現についての—考察と発展

C ① PP 鷲野 彰子 シューマンの書法における「ズレ」の読み方を考える

- ② PP 小川 有紀 鍵盤楽器の黎明期—ヘレニズム時代のオルガン、図像資料の比較と考察—
- D① PP 中 磯子 ピアノ演奏聴取における曲目と姿勢の違いによる心理的影響
- ② PP 田邊健太郎 音楽聴取経験と言葉で言い表せないもの (ineffable)
- E① PP 古庵 晶子 手作り楽器と創作物語の表現における学生の気づきと学び
- ② PP 藤田 光子 保育者養成校におけるピアノの苦手な学生に対する弾き歌い指導について
- F① PP 奥村 治 A R 〈拡張現実感技術〉を使用した音楽プロモーション
- ② PP 寺内 大輔 ジョン・ゾーンの《コブラ》の演奏における拘束性
- III A UW 中村 滋延・大竹 紀子 ⑨「現代社会における創作表現」
- B① PP 中島 直己 瀧廉太郎作曲・山田耕筰編曲「荒城の月」改変版の問題点について
- ② PP 阿部亮太郎 武満徹《アステリズム》の分析と考察
- C① PP 三島 郁 「正しい」奏法規準の歴史的変遷
- ② PP 木本麻希子 S. プロコフィエフの「5つのライン」と形式的な創造性
- D① PP 樫下 達也 新生音楽教育会の設立 (1947年) とその音楽教育史上の位置
- ② PP 鈴木慎一郎 三上留吉のライフヒストリーと《貝殻節》
- E① CP 阿部 祐治・横井 喜彦 保育現場におけるピアノ以外の楽器を用いた展開
- ② PP 稲木 真司 ドレミパイプの楽器としての可能性—基本的な奏法・指導法から実践まで—
- F① CP 尾見 敦子・永岡 都 音楽教科書の「視覚表現」をめぐって
- ② CP 加藤 晴子・加藤内蔵進・赤木里香子 音楽と美術と気候とを融合させた学習にみる表現
- IV A UW 山田 貢・山名 敏之 ⑩「様式と音楽表現」
- B① PP 島野 聖章 ショパンの対位法的書法に関する考察
- ② PP 中畑 淳 ピアノ演奏における旋律表現の工夫 (2)
- C① PP 山崎 英明 発声指導における「声区」のあり方—二声区説に基づいた実践を例に—
- ② PP 竹下可奈子 朗読試料との比較によるムーソルグスキイの歌曲分析
- D① PP 中村 文緒 J.S. バッハのヴァイオリン作品演奏における技法の探求
- ② PP 杉山 雄一 幼児に「やさしい」ヴァイオリン教本を考える
- E① PP 内山 尚美 ミュージカル活動が育むもの
- ② PP 柴山いづみ 歌唱におけるピアノ伴奏の在り方に関する研究
- F① PP 吉田 亮太 音楽的発達の視点による創作教育アプリケーションの開発と提案
- ② PP 志民 一成 小・中学校における民謡の歌唱活動の効果と意義
- V A CP 小畑 郁男・佐野 仁美 ベートーヴェンのピアノソナタにおける旋律素材の連関
- B① PP 吉永 誠吾 オクターブ重音奏法の音楽的意味と課題
- ② PP 安田 香 ベルクの歌曲「私の両の目を閉じて下さい」第1曲とOp.2 終曲の秘められた関係
- C① PP 阿方 俊 タテ線譜による鍵盤楽器導入の研究 (2)
- ② PP 安積 京子 少子高齢化におけるピアノ教育の現場課題と将来への提唱
- D① PP 森本 英希 ゲオルク・フィリップ・テレマンの楽譜比較
- ② PP 奥 忍 声と色と動きの統合表現—子どもたちの「能」学習—
- E① PP 門脇早聴子 戦後初等音楽科における器楽教育の導入
- ② PP 曾田 裕司 幼児の音楽表現におけるプラグマティックな側面について
- F① PP 董 芳勝 日中の音楽科教員に求める「表現力」の比較研究

4) 宿泊：大学は旧奈良市内、京都、大阪からきわめて便利の良い位置にあります。好きなお宿をご自分でお早めにご予約下さい。

5) 参加費：「参加申込書」に記載。

6) 懇親会：TEZUKAYAMA CAFÉ

18号棟1FにあるTEZUKAYAMA CAFÉはテラスと芝生の庭付きの広くてしゃれた空間です。お天気が良ければ庭に出て、参加者同士でグラスを傾けることもできるでしょう。例年大変な盛り上がりを見せる懇親会。今回もその道の名人による様々なアトラクションが披露されることが予測されます。CAFÉスタッフは心を尽くし、大学価格で学会のために準備を下さっています。みなさまのご参加をお待ちします。

7) 参加申込：以下の書式に必要事項と(✓)をご記入の上、事務局にお送りください。

第12回(まほろば)大会参加申込書			
ご氏名：			
連絡先：〒			
E-mail			
参加費：学会員		5,000円	
当日会員	1日につき	3,000円 参加希望日 () 21日 () 22日
学部学生	1日につき	2,000円 参加希望日 () 21日 () 22日
懇親会費：		5,000円	
22日の弁当(お茶付)：		700円	
合計：		_____円	

8) 送金先：会員には5月中旬発行予定の『大会要項』に郵便振替票を同封しますので、それをお使いください。

学会員以外の方はまず事務局に参加をお申し込み下さい。『大会要項』とともに振替票を送ります。

9) 申込み〆切：2014年6月10日(火)

10) 会場へのアクセス

会場は、近鉄奈良線「学園前」(特急・快速急行・急行・準急が停車)下車徒歩約1分の便利なところです。

【陸路】

名古屋・東京方面から 【東海道新幹線】利用「京都」下車、近鉄京都線「大和西大寺」で「なんば行」に乗換「学園前」へ。(約41分 620円)

岡山・広島・九州方面から【山陽新幹線】利用「新大阪」下車、市営地下鉄御堂筋線に乗り換え「なんば」下車、「なんば」から近鉄奈良線で「学園前」へ。
(約40分 720円)

神戸方面から 阪神「三ノ宮」から阪神近鉄相互乗り入れ「学園前」へ。
(約65分 850円)

【空路】「関西空港」利用：関西エアポートリムジンバス「学研京阪奈プラザ行」で「学園前」へ。

(約 80 分 片道 2,050 円、日帰り往復 2,500 円)

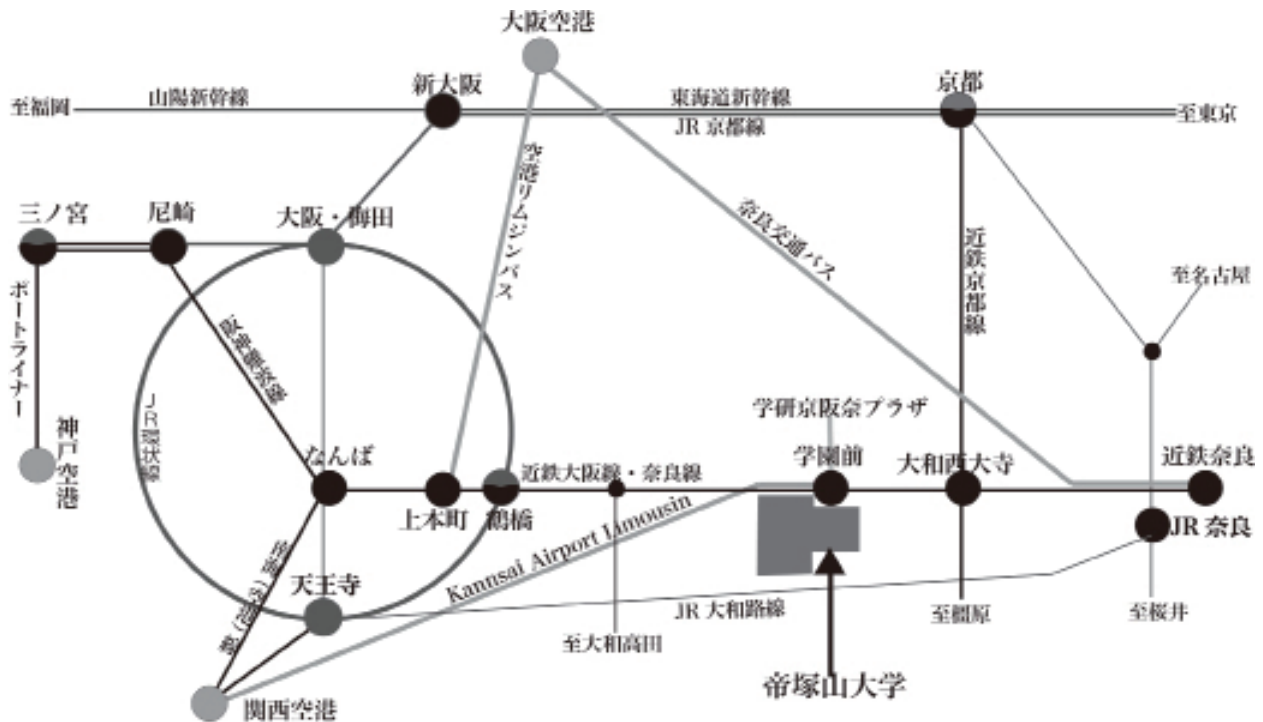
「大阪 (伊丹) 空港」利用: 奈良交通バス「近鉄奈良行」で「新大宮」または「近鉄奈良」から

近鉄奈良線で「学園前」へ。(約 75 分 1,440 円)

空港リムジンバス「近鉄上本町行」で「上本町」で下車。近鉄奈良線「学園前」へ。

(約 70 分 1,080 円)

「神戸空港」利用: ポートライナーで「三ノ宮」へ、阪神「三ノ宮」から上記参照。(約 85 分 1,180 円)



教 員 公 募

宮崎大学教育文化学部 職 名 教授、准教授または講師
所属講座 音楽教育講座
専攻分野 音楽科教育および音楽学
担当科目 (基礎教育) 大学入門セミナー、音楽と人間
(学 部) 初等音楽科教育研究、中等音楽科教育研究
音楽史 (日本の伝統音楽および諸民族の音楽を含む)
器楽合奏指導法 (和楽器を含む)
(大 学 院) 芸術教育系学習開発研究、芸術教育系内容開発研究
芸術教育系授業研究
芸術教育系内容開発基礎研究、等

照会先: 宮崎大学教育文化学部 音楽教育講座 菅 裕
Tel. 0985-58-7521
e-mail c05107u@cc.miyazaki-u.ac.jp

津上智実、橋本久美子、大角欣矢著

『ピアニスト小倉末子と東京音楽学校』

—海外が認めた日本人ピアニスト第一号—

(2011年 東京藝術大学出版会刊 ISBN 978-4-904049-27-3)

江頭義之 (ピアノ)

とても興味深い書物に出会った。久野ひさと同時代、1891 (明治24) 年生まれのピアニストである。ドイツ留学は山田耕筰、多久寅、萩原英一などと一緒で、ベルリン音楽院で習ったバルト教授の同門には日本人には馴染み深いピアニストのケンプがいる。この本に出会うまで、私は彼女の名前すら聞いたことがなかった。彼女は、1914 (大正3) 年ニューヨークのカーネギーホール (室内楽ホール) で演奏した折にその技量を高く認められた。その後しばらくシカゴのメトロポリタン・コンサバトリーの高給教授として教えている。東京音楽学校へは1916年、25歳で講師となり、翌年から教授として1944 (昭和19) 年に依願退職をするまで28年間教鞭をとった。その間、国内外で様々な演奏活動を行ったということである。本書の副題通り、まさに「海外が認めた日本人ピアニスト第1号」の人物である。ここで本書の概要を本文を引用しながら紹介したい。

本書は「ピアニスト小倉末子と東京音楽学校展」(2011年、旧東京音楽学校奏楽堂) を機に企画・執筆され (後書き p.122)、同年に東京藝術大学出版会から第1刷発行された。3名の著者の他に数名の研究者がコラムを執筆しており、小倉末子というピアニストを立体的に浮かび上がらせている。

本書は以下の6章から構成される。

- I 「入学以前」の章では、生い立ちと神戸女学院での学び。東京音楽学校への入学。
- II 「在学中」の章では、東京音楽学校での学生時代。
- III 「海外で」の章は、留学先のドイツでの学び、その後のアメリカでの活躍。
- IV 「大正期」の章は、帰国後の活躍と東京音楽学校に迎えられて。
- V 「昭和期」の章は、昭和戦前期の活躍と東京音楽学校の仕事や演奏活動。
- VI 「逝去と後世」の章は、東京音楽学校を退職した

あとの突然の死と、没後の忘却。

小倉末子の少女時代は、居留地を抱えた神戸でドイツ人の兄嫁に育てられた。小倉末子の兄、庄太郎は貿易商で成功しており、彼女の環境は経済的にも恵まれていた。神戸女学院に5年間在籍し1910 (明治43) 年19歳にて卒業する。本書巻頭グラビアに神戸時代の彼女の写真があるが、その当時としては大変珍しい洋装をしている。

神戸女学院を卒業後、東京音楽学校へ入学、しかし、わずか半年の在籍である。理由は成績優秀な彼女を、同校外国人教師ルドルフ・ロイテルがドイツへの留学を勧めたからであった。東京音楽学校から円満退学したとみられる。

ベルリン音楽院での2年4ヶ月の留学の後、1914年の第1次世界大戦の勃発によりアメリカへと渡る。渡米先での活躍は前述のとおり。

日本へは1916年 (25歳) に帰国。翌年からは東京音楽学校の教授となり、以後国内外の様々な演奏会に出演する。なかでも特筆すべきは、1918年から翌年にかけて行われた「洋琴楽発達研究演奏会」である。これは、クープラン、バッハ等バロック時代の作曲家から古典派やロマン派、そしてシェーンベルク等、現代作曲家の曲を6回に分けて系統立てて演奏するもので、歴史的な展望の中で楽曲を聴く企画は日本で最初のものであり、音楽雑誌にも毎回記事が出た。また、東京音楽学校の定期演奏会でも彼女の出演回数は他の教員と比べても多く、彼女が名実ともに花形であったと想像できる。

小倉末子の音楽活動の中で取り分け特色のあるものに、大正期の女性運動との関わりがある。「女子高等教育のために弾く」という演奏活動で、婦人会関西連合大会などの演奏会で大阪中央公会堂の舞台にしばしば立った。また母校の神戸女学院のために慈善音楽会を何度も行った。

昭和戦前期では、ラジオ放送のベートーヴェン百年祭記念放送に出演、日比谷公会堂の柿落としにも出演している。また、現在も続いている「日本音楽コンクール」の創設委員になり、1932年の第1回から毎年審査員を務めた。また同年には3冊目の編著書『新選ピアノ名曲集』を出版している。

大正、昭和戦前時代と長きに渡り東京音楽学校の教授を務めてきたが、日本をのみ込む時代の波には勝てず、1944（昭和19）年辞表を出し退職する。当時の新聞には「40名の先生勇退 音楽学校も衣更へ『音感基地』へ一路邁進」という記事が載った。

退職した年に、小倉末子は突然の死を迎えた。常用していた睡眠薬が弱っていた体に効き過ぎたと伝えられる。彼女が急逝した1944（昭和19）年は敗戦の前年で、雑誌も新聞も統合されて、追悼記事が出る余地などなかったらしい。

さて、小倉末子というピアニストについて本書を読んでいくなかで、私の中に強い問いかけが生まれてきた。それは個人と社会の関係である。彼女の育ってきた環境、またその後の日本の時代環境の変化等々。まず、共著者、大角欣矢が『「序論」—東京音楽学校史と国策における「洋楽」の位置』の中で述べていることは、我々音楽人にとって音楽と社会

の関わりについて実に考えさせられるのである。明治12年に東京音楽学校の前身である「音楽取調掛」が設立されたが、それは3つの理念である「東西二洋の音楽を折衷して新曲を作る事」「将来国楽を興すべき人物を養成する事」「諸学校に音楽を実施する事」を謳っていたといわれる。この成就のために、将来における「国楽」育成のために、今は洋楽を徹底的に学ぶ時なのだ、という主張は、大正・昭和期を通じて、東京音楽学校の存在理由として繰り返された。この方針の下で、戦後の日本の目覚ましい復興によって数々の世界的な作曲家や演奏家を輩出してきたと言えるだろう。小倉末子は、このような大きな日本の流れの中で音楽文化の先頭を切っただけで走っていたピアニストという感がある。

本書はその日本の明治以降の音楽文化の流れ（特に大正・昭和戦前期）を理解する上で非常に重要な証言となり、また今後の参考となるだろう。そして彼女の死とその後の忘却を考えると、いまさらながら個人と社会の関係を問うてみたくなる本でもある。写真資料が豊富に掲載されているのもうれしい。日本の演奏家たちの変遷を考える上でも非常に参考となり今後の在り方を考えさせられる本であった。

（事務局より：本書は品薄です。購入は紀伊国屋書店、アマゾン、楽天などでお求めください。）



個人情報に付き削除



日本音楽表現学会後援コンサート等情報

- 鶴澤友球さん
(向田由美)
- 鶴澤友球 浄瑠璃ライブ vol.15 ー東西の声の音楽 聴きくらべー**
日 時：2014年1月26日(日) 14:00 開演
会 場：向田宅(淡路市中田 1673-1)
主な内容：名古屋二期会会員のソプラノ歌手 加藤晴子さんと淡路市在住のピアニスト 五反田尚恵さんをゲストに迎えての「東西の声の音楽」。『恋女房染分手綱』〈重
の井子別れの段〉、三木露風作詞・山田耕筰作曲『露風の巻 全6曲』ほか
料 金：一般 2,000円 学生割・リピーター割有
主 催：鶴澤友球&友球会
- 鶴澤友球さん
(向田由美)
- 鶴澤友球 浄瑠璃ライブ vol.16 ー語りで暖をとりましょうー**
日 時：2014年2月22日(土) 14:00 開演
会 場：向田宅(淡路市中田 1673-1)
演 目：『一谷嫩軍記』二段目〈組討の段〉ほか
料 金：一般 1,400円 学生割・リピーター割有
主 催：鶴澤友球&友球会
- 山崎英明さん
- 心の中をのぞいてみる ～3.11に寄せて～**
日 時：2014年3月11日
会 場：熱田文化小劇場(名古屋市)
主な内容：「つぶてソング」全曲、「震災日記」(菅野幾代氏の記録に基づく)ほか
演 奏 者：山崎英明(テノール)、日比亮太(ピアノ)ほか
料 金：全自由席 1,500円
主 催：JAM企画
- 鶴澤友球さん
(向田由美)
- 鶴澤友球 鶴澤友球 浄瑠璃ライブ vol. 17 ー義太夫節三味線の魅力ー**
日 時：2014年3月23日(日) 14:00 開演
会 場：向田宅(淡路市中田 1673-1)
主な内容：徳島県より、鶴澤友輔さんをゲストに迎え、義太夫節三味線の響きを堪能で
きる古典外題に加え、友輔さんオリジナルの三味線曲を紹介
料 金：一般 1,800円 学生割・リピーター割有
主 催：鶴澤友球&友球会
- 奥村 治さん
- 東京ブリュッセルトリオ ー日本公演 2014ー**
日時&会場：4月11日(金) 19:00 開演 ピアノ専門サロンベヒシュタインサロン(汐留)
4月12日(土) 14:00 開演 東京オペラシティリサイタルホール(新宿)
4月20日(日) 14:00 開演 サロンクラシック(兵庫・芦屋)
趣 旨：アルペジョーネ作家、奥村治製作による楽器を使用してのコンサート
主な内容：J. ハイドン トリオ Hob.15-16 ニ長調、P. ゴベール 三つの水彩画、J.N. フ
ンメル トリオ 作品78、D.J. ローゼンシャイン委嘱作品世界初演(フルート、
アルペジョーネとピアノのための)、B. マルティヌー トリオ
参考HP：http://www.tokyo-bruxelles-trio.com/index_Japonais.html

多田純一さん 『我が国最初の「ショパン弾き」澤田柳吉』
日 時：2014年4月19日
会 場：三木楽器開成館ピアノサロン（大阪）
趣 旨：CD出版記念レクチャーコンサート
演 奏 者：多田純一、紺谷志野、ほか
料 金：6,000円
主催後援：塚本学院校友会、三木楽器開成館
備 考：チケット購入者全員にCDをプレゼント。完全予約制。
連 絡 先：多田純一

河内 勇さん 河内勇 クラリネットのひととき vol.3
日 時：2014年5月2日（金）19:00開演
会 場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
主要内容：ブームス：クラリネット・トリオ など
主 催：トリオコンサート実行委員会
演 奏 者：河内勇（cl） 福井真裕子（pf） 高橋宏明（cello）
料 金：前売り 2,500円 学生 2,000円 当日 3,000円
主催後援：京都市立芸術大学同窓会 真声会

宮田知絵さん 宮田知絵 ソプラノ・リサイタル
日 時：2014年5月6日（火）
会 場：西宮市 甲東ホール
趣 旨：良質な音楽、中でも伝統的な学校教材の唱歌や童謡などを基本として、世界の歌の魅力を、一般市民を対象として、演奏発表を行う。
主要内容：わらべうたと唱歌・童謡の世界（「ひらいた ひらいた」「越天楽」他）、マンドリンと歌の世界（W.A.Mozart「2つのマンドリンによる歌曲」KV351他）、ドイツ・リート（R.Strauss “Kornblumen”他）、本歌曲（中田喜直「ゆく春」他）、オペラ・アリア（G.Puccini 歌劇『ラ・ボエーム』より「さようなら、あなたの愛の呼ぶ声に」他）
演 奏 者：宮田知絵（ソプラノ）、村尾忠廣（ピアノ）

酒井勇也さん サクソフォンとピアノによるトリオコンサート～レモンの花に寄せて～
日時・会場：{広島公演} 2014年5月9日（金）18:30開演 広島市東区民文化センター
{岡山公演} 2014年5月10日（土）14:00開演 岡山シンフォニーホール
主要内容：プーランク作曲 ピアノとオーボエとバソンのための3重奏曲 など
演 奏 者：酒井勇也（Sax）、赤木俊祐（Sax）、玉野智絵（Pf）
料 金：一般 1,500円、学生 1,000円（当日各 500円増）
主 催：トリオコンサート実行委員会

深井尚子さん メビウストリオ東京 第2回演奏会
日 時：2014年5月27日（火）19:00開演 18:30開場
会 場：松尾ホール（東京日比谷）
主要内容：モーツァルト：ピアノ三重奏曲 C-dur、ドビュッシー：ピアノ三重奏曲 G-dur、メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第2番 c-moll

演奏者：深井尚子 (Pf)、福本牧 (Vn)、小原圭 (Vc)
料 金：全自由席 4,000 円
後 援：全日本ピアノ指導者協会

大澤 聡さん 大澤 聡&菅麻里絵ピアノコンサート
日 時：2014年6月1日(日) 14時開演
会 場：今治市朝倉ふるさと美術古墳館
趣 旨：今治で子ども時代を過ごし、それぞれ違う形で音楽の道に進んだ二人が故郷で開く小さなコンサート。聴いて下さる方々がクラシック音楽を身近に感じてくださったら嬉しい。
主要内容：シューマン「子供の情景」、ショパン「夜想曲」、ラヴェル「優雅で感傷的なワルツ」、ドビュッシー「小組曲」他

安藤政輝さん 安藤政輝 箏りサイタル「宮城道雄全作品連続演奏会 15」
日 時：2014年6月9日(月) 19:00開演(18:30開場)
会 場：紀尾井小ホール(東京都千代田区)
趣 旨：宮城道雄の全作品を時代を追って演奏するシリーズの15回目。昭和12～13年を中心に。
主要内容：《沓越調箏協奏曲》《古戦場の月》《満州調》
主な出演者：安藤政輝、安藤珠希、石井まなみ、野沢雅世、柴田旺山、田嶋謙一
料 金：前売 4,500円、当日売 5,000円(全席自由)
後 援：公益財団法人 日本伝統文化振興財団
備 考：メールでチケットの申込可(問い合わせ先：ando.masateru@gmail.com)

会員による CD リリース

多田純一さん 日本人とショパン—洋楽導入期のピアノ音楽
演 奏：多田純一
発 売 日：2014年3月28日
発 売：アルテスパブリッシング
価 格：本体 3,900円(税別)
備 考：【巻末楽譜資料】ショパン作曲《エチュード》op.10のパラダイム化した楽譜

安藤 政輝さん 安藤政輝 宮城道雄を弾く 4 箏手付集(尾上の松～こんかい)
概 要：宮城道雄による地歌への箏手付集。《尾上の松》《水の玉》《こんかい》の3曲を収める。
発 売：VZCG-788 公益財団法人 日本伝統文化振興財団 2014年2月26日
価 格：3,240円(税込)

会員による新刊

{ 小畑郁男さん 「旋律表現のためのやさしいピアノ曲集 《保育士、教員養成にはこの一冊でOK!》」
佐野仁美さん 発行年月：2014年3月
出 版 社：株式会社サーベル社
定 価：本体 1,800円 + 税
備 考：JSPS 科研費 24531160 の助成研究

『音楽表現学』Vol.12 原稿募集

学会誌編集委員長 菅 道子

『音楽表現学』Vol.12の投稿〆切は2014年5月31日(土)です。

投稿資格：投稿者および共同執筆者は、その年度の年会費を納入した会員に限る。(投稿規定3)

執筆要領・投稿方法：『音楽表現学』Vol.11の巻末、または学会HPの「投稿規程」をご覧ください。

投稿書式：投稿時点では2段組でなく、1段組でご応募ください。

引用文献の記載方法：HPに例示しています。

執筆方法：本学会発行『研究論文執筆のしおり』を参考にされることをお勧めします。

日本学術振興会「育志賞」の推薦について

日本学術振興会から平成26年度「育志賞」の候補者推薦の依頼が届いています。以下の3つの条件に合致する会員は推薦を検討しますので、事務局までお申し出下さい。

1) 対象者の条件・本年4月1日現在34歳未満

- ・日本の博士課程在学中
- ・日本音楽表現学会機関誌『音楽表現学』に論文が掲載されていること。

2) 申し出の〆切 2014年4月30日

申し出のあった会員の中から本学会として推薦するにふさわしいと思われる方を1名選出します。候補者として選ばれた方は育志賞の受付期間(6月11日～13日)までに書類を準備していただくこととなります。ご質問等がありましたらご遠慮なく事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp までご連絡下さい。(理事会)

事務局からの重要なお願い

1) 年会費の納入について

- ・学会のすべての活動は皆様方の年会費で運営されています。機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたすことのないよう、速やかな納入をお願いいたします。なお、会則第8条(2)にもとづき、会費を連続3年間未納の場合には会員を「除名」となりますのでご注意ください。
- ・年会費については『音楽表現学』巻末に「経費関係細則」が掲載されています。なお、学生会員は、学部生に限られます(会則第5条)。
- ・納入は必ず郵便振替でお願いします。無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、振替票右側の「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度のメモを記載の上、保存くださることをお勧めいたします。

なお、学会では原則として改めての領収書発行はいたしておりません。

2) 住所・所属・電話番号・メールアドレスの変更は速やかにお届け下さい!

事務局からさまざまなお知らせをメール配信しておりますが、リターン・メールがつかぬに何通かあります。また、機関誌『音楽表現学』等の重要書類が返送されることもあります。メールアドレス、連絡先ご住所、ご所属等を変更された場合には、下記アドレスから、会員情報フォームに変更事項を入力いただくか、あるいは事務局まで変更事項をお知らせくださいようお願い申し上げます。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

事務局からのお知らせ

1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

- ・研究ノート、随想など：図表を含めて刷り上がり 1 頁以内
- ・コンサート案内：学会後援・協賛のものを掲載します。
- ・新刊案内・CD/DVD リリース：会員による刊行物等の紹介を行います。購入方法なども含めてお知らせください。
- ・その他：所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。
music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

2) 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

- ・研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

【各種書式】

1) 「入会申込書」

入 会 申 込 書	[備考]
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 年 月 日 氏 名 (ふりがな) : 専門分野 : 所 属 : 自宅住所 : 〒 連絡先 : (上記と異なる場合) 〒 連絡先 Tel. : e-mail : 推薦者名 (学会員・1名) 音楽表現学会に期待されること。ご意見等 :	・「入会申込書」を送付いただきましたら、事務局から年会費納入のための郵便振替票を送ります。年会費ご入金の確認をもって手続きを進め、入会承認後、「入会承認のお知らせ」文書をお手元にお届けします。 ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。 ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。 ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

2) 「後援願」書式 学会 URL 「コンサート・出版物等、後援・協賛申請フォーム」からお申し込みください。

3) その他 他の書式が必要なときには、事務局へお申し出下さい。

- ・大会の口頭発表は、これまでの研究を発信し、それを参加者一同と共有する場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ・コンサートの後援・協賛のご案内：会員による各種演奏、ワークショップ、イベントなどの活動を学会は「後援または協賛」します。本学会ホームページのリンクから、〔コンサート等後援/協賛申請フォーム〕にて申請してください。

3) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

メール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3 は 1 部 1500 円+送料

Vol.4～Vol.11 は 1 部 3000 円+送料

一般価格：Vol.2～Vol.3 は 1 部 3000 円+送料

Vol.4～Vol.11 は 1 部 3500 円+送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。なお、Vol.1 は残部がありません。

日本音楽表現学会第12回大会のご案内 (簡略版)

- ・期 日：2014年6月21日(土)～22日(日)
- ・会 場：帝塚山大学 学園前キャンパス (奈良市学園南 3-1-3)
- ・基調講演：講 師：藍川由美氏 (声楽家)
テーマ：「日本語の特性と古代歌謡および唱歌・童謡の歌い方」
- ・シンポジウム：企画・司会：村尾忠廣
シンポジスト：岡田 孝、北川純子、鶴澤友球、藍川由美の各氏
テーマ：「男のソプラノ・女のバリトン—裏声とジェンダーの問題—」
- ・学会企画統一テーマWS 「音楽表現の理念と技法」
 - ⑨現代社会における創作表現
 - ⑩様式と音楽表現
- ・帝塚山大学 18号館会場へのアクセス：近鉄奈良線「学園前」(特急・快速急行・急行・準急が停車)下車
徒歩約1分(下図参照)
- ・学園前までのアクセス：陸路、空路とも詳細は本ニューズレター p.7をご覧ください。



2013年度役員一覧

会 長：	安藤 政輝		
副 会 長：	北山 敦康		
事 務 局 長：	杉江 淑子		
理 事：	奥 忍 (事務局担当)		
	後藤 丹 (総務担当)		
	小畑 郁男 (会計担当)		
	吉永 誠吾 (会計担当)		
編集委員会：			
委員長	菅 道子		
副委員長	中村 隆夫		
委員	安藤 珠希	小野 亮祐	
	澤田まゆみ	志民 一成	
拡大委員	伊野 義博	小西 潤子	安田 香
選挙管理委員会：			
委員長	中 磯子		
委員	鈴木慎一郎	西野 晴香	
監 事：	海津 幸子	谷口 雄資	
会長諮問会議：	草下 實	佐々木 正利	
	中村 隆夫	安田 香	
参事：(事務局)	似内 裕美子	松井 萌	
(会計担当理事付)	近藤 晶子		
	袴田 和泉		

編集後記

このところ続いて個人的に入会の相談を受け、本学会の活動の広がりを実感しています。全国大会も回を重ねてはや12回となり、当初はネタが尽きると思われていた大会の愛称も、いつしかこの学会になくはならないものになってきました。今大会は言葉の響きも文字の形もやわらかい「まほろば大会」です。実り多い昨年の「イーハトーヴ大会」を受けて、音楽表現の理想郷がさらに広がるに違いありません。六月の緑萌えるまほろばの丘で、会員の皆さんと再会できるのを楽しみにしております。

(北山 敦康)